

つなげよう つながろう
ふたばのわ

「ふたばのわ」は双葉町の結びつきを
深めるための情報紙です。

自治会・団体の活動紹介や町民同士の
新たな交流の場取材しお伝えしていきます。

「ふたばのわ」を通して町民のみなさんの
つながりや笑い合う場を増やしていけたら。

- ▶ 私たちのこころのふるさと。町立学校開校へ(P2~4)
- ▶ ふたばのわスマイルフォト(P5) ▶ 復興公営住宅の検討状況について(P6)
- ▶ 復興公営住宅モデルルームにいらっしゃいました!(P7) ▶ 放射線モニタリング情報・編集後記(P8)

■発行: 双葉町秘書広報課(☎0246-84-5202) ■企画・編集: ふたさぼ(双葉町復興支援員)



インターネットでもつなげようつながろうふたばのわ
(町公式フェイスブックページ)

▶ <http://facebook.com/fukushima.futaba>



私たちのこころのふるさと。

町立学校開校へ

開校までの道のり、 半谷教育長の想い

町が様々な困難を抱えている中で、学校開校が困難であることはあたり前のことです。半年という短期間での準備でしたが、多くの町民の後押しもあり、ここまで非常にスムーズにできました。学校開校については様々な意見がありましたし、正直不安もありました。教育長としてみなさんの想いを実現させたいという一心で取り組んできました。

また、学校開校は、町の復興においても大きな意味を持つと思っています。新しい価値観や視点を持ち、新しい学校づくりを考えなくてはいけないと思います。子どもたちと先生方、町民とともに、新しい双葉町の歴史、新しい文化を一緒につくりだしたいと考えています。

半谷淳 教育長



この半年間、学校開校の仕事を通じて様々な経験をさせていただきました。関わってきた者同士、互いに話し合っている方向に進もうという営みこそが、私たちを鍛えますし、そのことは今後の町の復興に必ず活かせるだろうと信じています。考えること、悩むこと、そこから新しい道を探る、すべての行為が大切なことです。私たちも学校を作り上げていく中で子どもたちと一緒に学んでいきたいと思っています。



仮設校舎予定地



仮校舎

いわき市錦町御宝殿 56 (旧錦星幼稚園)
現在旧園舎の取り壊しがおこなわれています

いわき市錦町作鞍 80-5 (東邦銀行植田支店錦出張所)
東邦銀行の看板が目印です

今想ひいふ

松本校長 双葉の学校が始まることで、まちづくり、ひとづくりがいよいよスタートを切るんだなという気持ちですよね。

日野校長 やつと子どもたちと教育活動ができる。とにかくやるぞ、という気持ちでいます。

荒木校長 私たちにとっても自分の学校で仕事ができるのは幸せ。教師一丸となつて双葉の学校を選んでくれた子どもたちの夢を叶えて、卒業の日を迎えさせたいと思つています。

力を入れて取り組むこと

荒木校長 震災後、避難の影響で部分的に勉強できていない子どももいるかもしれませんが、個々の状況や特性、学力を先生が見極めて、卒業までの目標を子どもと話し合いながら一人一人に合わせた指導計画を作ろうと考えています。

日野校長 英語学習にも力を入れます。幼いうちからA-LTや外国の方と密に接



双葉南小学校
日野俊隆 校長

双葉中学校
荒木幸子 校長



する環境を作りたい。7月には研修施設での異文化体験学習も考えています。

松本校長 タブレット端末を取り入れた授業を考えており、先生方も研修をしています。より良い手段として有効に使えるようにしたい。

荒木校長 自分でタブレットを使ってみて、ゲーム感覚で勉強できるのがとても楽しいと感じました。

松本校長 案内子どもたちの方が詳しいかもしれません。先生と子どもが一緒になつて学べてより楽しい授業になりますね。

荒木校長 少人数だからと言ってあきらめるのではなく、マイナスをプラスに変えていきたいです。学習発表会や部活もやりたいと思います。また、人数が少ない分、空いた時間を使って芸術や文化、スポーツ選手との交流など、一流のものに触れる機会を作りたいと考えています。

双葉の子どもたちへ

松本校長 相互扶助の精神に富んだ双葉町。そんなつながりを持つきっかけをこの学校で作りたい。楽しく学んで必ず力が付く、そんな学校にしたい。

日野校長 まずは子どもたちが楽しみ、また来たいと思ってくれる学校にしたい。その気持ちが保護者の方にも伝わるよう、一生懸命やりたい。

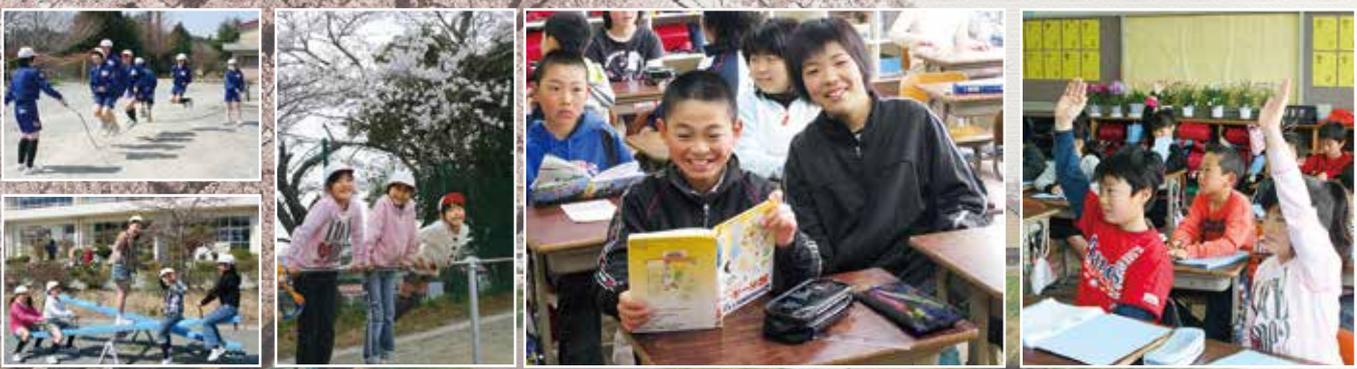
荒木校長 双葉の学校を選んでくれた子どもたちにはありがたうの気持ちでいっぱいです。

私たちはいつでも待っている。困った時、学校に来たくなったとき、どうぞいつでも来てください。

双葉町の学校は子どもたちの夢はもちろん、先生方、双葉町の方、みんなの夢を叶えてくれる、そんな場所になります。



双葉北小学校
松本浩一 校長



双葉町学びの歴史

現在の町立小学校の母体となっているのは、新山町にあった新山小学校と長塚村にあった長塚小学校。中学校は昭和22年に誕生した標葉中学校が母体となっています。

年度	できごと
昭和22	新制中学校発足により標葉中学校が誕生、開校式を行う
昭和26	長塚村と新山町が合併し、標葉町となる 標葉町立標葉中学校、標葉町立新山小学校、標葉町立長塚小学校と改称
昭和27	標葉中学校校舎落成式
昭和31	町名を標葉町から双葉町に改称 双葉町立双葉中学校、双葉南小学校、双葉北小学校と改称
昭和42	南小敷地造成中、清戸迫横穴墓に装飾壁画を発見
昭和44	南小新校舎落成式
昭和48	北小新校舎落成式
昭和49	双葉幼稚園落成式 南小・北小創立100周年記念式典
昭和52	双葉中学校新校舎に移転
昭和55	双葉中学校新校舎落成記念式典
昭和62	北幼稚園落成式 双葉幼稚園が南幼稚園となる
平成8	双葉中学校創立50周年記念式典
平成13	南・北幼稚園が統合し、ふたば幼稚園となる



現在の町民グラウンドの場所(長塚字鬼木)に中学校があり、成人式や芸能発表会、町民体育祭などもここで行われていました。

このころから、農繁休業を実施。農業が忙しいときは学校もお休み!

これまでは現在の双中の場所にありました。

昭和39年、双中集団就職生東京へ引率。双中で給食がスタート。

現在の場所に引っ越し。跡地は図書館・児童館・歴史民俗資料館・町民グラウンドになる。

幼稚園バスの運行開始。



中学校



双葉町年表より

南小学校



北小学校



幼稚園



開校式、入園・入学式のお知らせ

日時 平成26年4月7日(月)
開校式:午前9時30分～
入園・入学式:午前10時～

場所 いわき市勿来市民会館 大会議室
〒974-8232
福島県いわき市錦町上川田21
☎0246-62-3145

「双葉町の学校に入りたくなかった時はいつでも来てほしい」と先生方は口をそろえて話されています。

さらには、少人数のメリットを最大限に活かし、豊かな心を育み、楽しい学校生活を送れる環境づくりを目指しています。

保護者の方が子どもを安心して学校に通わせるためのサポートも充実しています。遠方から通う子どもたちのためのスクールバスの運行や給食の提供、そして震災後、様々な経験をした子どもたちのため、心のケアにも重点をおき、カウンセラーの派遣も検討しています。

校舎は2階建てで、体育館も併設されます。少人数ではありますが、幼・小・中の子どもたちが同じ校舎で学ぶことで、学年の枠を越えた交流もできます。

学校生活を楽しくするためのサポート

双葉町のホームページでは学校再開に向けての教育長メッセージを掲載しています。幼稚園、小・中学校に関するお問い合わせは教育委員会 教育総務課まで お問い合わせ先: ☎0246-84-5210

ふたばのわ スマイルフォト

～笑顔でみんなをつなげたい～



1月23日
いきいきサポートセンター
ミシン教室(加須市)



2月4日
広報紙を読みながら
みんなでおしゃべり
(いわき市)



2月4日
いきいきサポートセンター
編み物教室(加須市)



2月6日
サポートセンターひだまり
にここサロン(いわき市)



2月18日
いきいきサポートセンター
手芸教室(加須市)



2月11日
LOVE FOR NIPPON
キャンドルナイト(いわき市)

復興公営住宅の検討状況について

～第1期募集と今後の予定～

復興公営住宅って？

復興公営住宅とは、福島県が整備を行う、原子力災害により避難指示を受けている方を対象にした、県営の公営住宅です。整備・募集などは、福島県によって進められます。

双葉町では、町民のみなさまの意見を伺いつつ、より良い形で整備が進むよう、福島県に対して、要望活動を行っています。進捗状況に関しては、以下をご覧ください。

協議中

双葉町では、復興公営住宅整備に関して、県及び4市と協議を進めています

双葉町では、住民意向調査の結果を踏まえて、県に対して、いわき市・郡山市・南相馬市・白河市に希望する町民がまとまって入居できる復興公営住宅の整備を要望しています。現在、国・県・受入自治体4市と、協議を進めています。

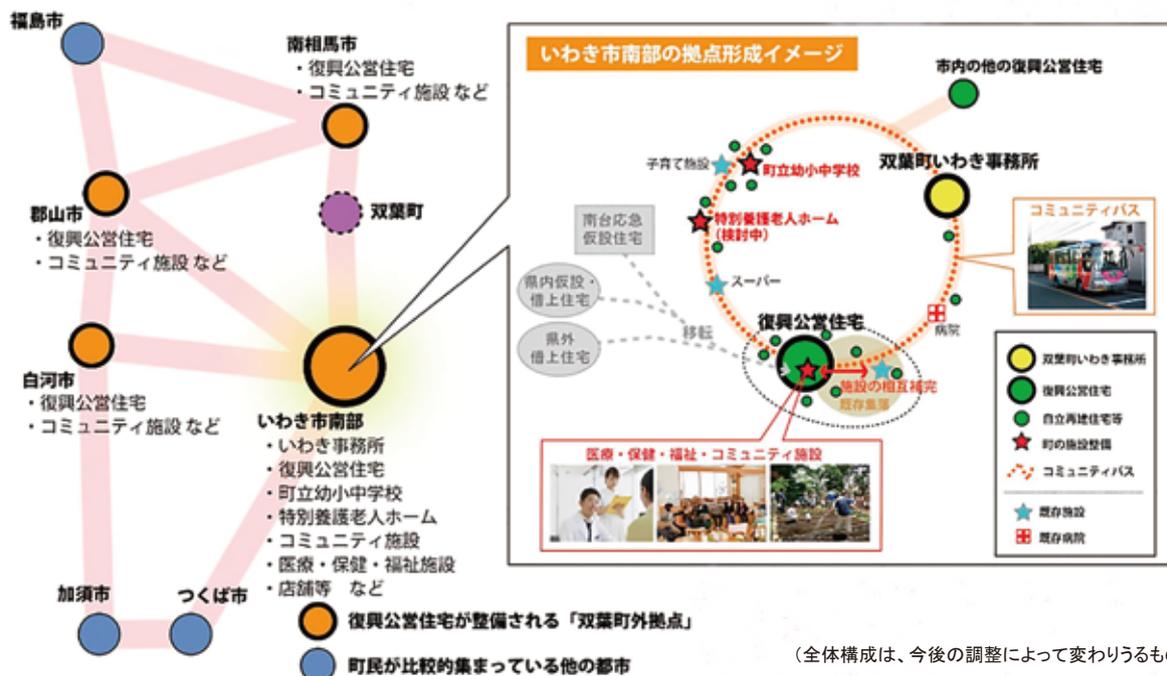
要望中

いわき市南部（勿来地区）にメインとなる「双葉町外拠点」の整備を要望中

いわき市南部（勿来地区）は、役場機能も移転し、4月より町立幼稚園・小・中学校も再開されます。いわき市の復興公営住宅を希望する町民が最も多いことを踏まえ、いわき市南部（勿来地区）の復興公営住宅を「双葉町外拠点」の中心にする考えです。

そのため、いわき市南部（勿来地区）の復興公営住宅が町民のコミュニティの場としても、機能できるよう、多様な形態の復興公営住宅を整備するとともに、診療所・高齢者福祉施設・店舗・集会場・広場・農園などの諸施設の併設も要望しています。

双葉町が要望している復興公営住宅全体構成図案



第一期募集

福島県では、全体で4,890戸整備予定の復興公営住宅のうち、第1期分として500戸の募集を行うことを発表しました。復興公営住宅は、第2期・第3期の整備が随時進んでいきます。

町担当者としては、いわき市南部(勿来地区)の復興公営住宅の整備も検討していることもあり、全体の整備状況などと合わせて、慎重にご判断いただければと考えています。

整備予定箇所や住宅の構造・戸数など、詳細については同封の「福島県復興公営住宅の募集について」をご覧ください。

お問い合わせは双葉町復興推進課まで ☎0246-84-5203

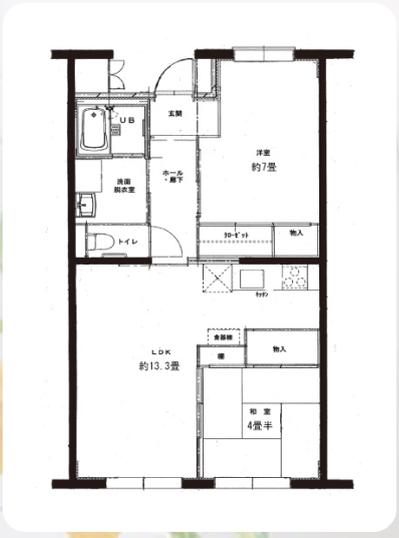
いわき市小名浜に、復興公営住宅モデルルームが完成しました。2月1日に開所式が行われ、同時に見学会も開催されました。

ふたさぼメンバーも、見学会に参加し、内覧をしました。全面バリアフリーで、収納も多くあり、手すりなども備え付けてあります。

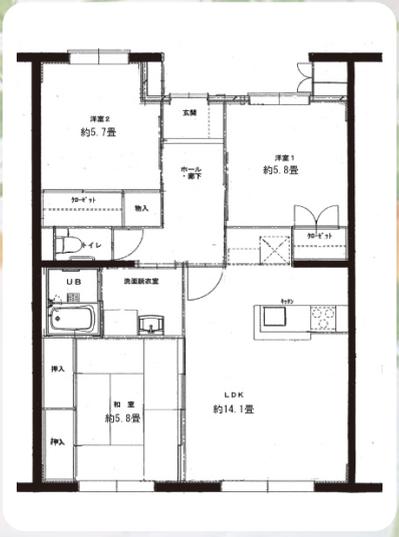
モデルルームは、週6日間開放していますので(水曜日は定休)、ぜひ、一度足を運んでください!

復興公営住宅 モデルルームに いってきました!

2LDKタイプ



3LDKタイプ



間取りは、建物によって異なります。また、家具等はついていません。

所在地 ・ 営業時間	いわき市小名浜 復興公営住宅モデルルーム	郡山市麓山 復興公営住宅モデルルーム
	住所：いわき市小名浜字辰巳町23 営業時間：10:00~17:00 定休日：水曜日	住所：郡山市麓山1丁目1-1 (福島県郡山合同庁舎敷地内) 営業時間：10:00~17:00 定休日：水曜日

放射線モニタリング情報

福島県内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

平成26年2月28日

- ①福島市 北幹線第二応急仮設住宅… 0.18~0.30
- ②福島市 さくら応急仮設住宅… 0.12~0.15
- ③郡山市 日和田応急仮設住宅… 0.14~0.33
- ④郡山市 喜久田応急仮設住宅… 0.09~0.22
- ⑤郡山市 富田応急仮設住宅… 0.21~0.33
- ⑥いわき市 南台応急仮設住宅… 0.05~0.06
- ⑦猪苗代町 上川原応急仮設住宅… 0.06~0.07
- ⑧会津若松市 城前応急仮設住宅… 0.07~0.08
- ⑨白河市 郭内応急仮設住宅… 0.11~0.17
- ⑩福島市 県北保健福祉事務所… 0.20
- ⑪郡山市 県郡山合同庁舎… 0.13
- ⑫白河市 県白河合同庁舎… 0.08
- ⑬会津若松市 県会津若松合同庁舎… 0.07

- ⑭南会津町 県南会津合同庁舎… 0.02
- ⑮南相馬市 県南相馬合同庁舎… 0.13
- ⑯いわき市 県いわき合同庁舎… 0.08



双葉町内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

地区	地点	平成24年 4月1日	平成26年 2月28日
新山	新山公衆トイレ脇公営駐車場	—	1.23
新山	新山公民館	—	0.73
新山	双葉町歴史民俗資料館	—	0.67
新山	双葉南小学校	—	0.78
新山	双葉中学校	—	1.08
新山	県立双葉高等学校	—	1.39
新山	中央公園	—	0.93
下条	双葉総合公園	2.60	1.68
下条	双葉町役場	—	2.14
郡山	郡山公民館	1.48	0.98
細谷	細谷公民館	2.31	1.25
三字	三字公民館	2.53	1.52
山田	山田農村広場	24.47	13.86
石熊	石熊公民館	12.10	7.04
長塚	双葉町体育館	6.25	3.48
長塚	長塚二公民館	3.26	1.72

地区	地点	平成24年 4月1日	平成26年 2月28日
長塚	双葉町青年婦人会館	—	3.60
長塚	町西住宅	—	0.76
長塚	JAふたば北部営農センター	—	10.39
長塚	双葉北小学校	—	3.17
長塚	ふたば幼稚園	—	2.62
長塚	双葉駅北側駐車場	—	1.84
長塚	双葉町児童館	—	0.57
羽鳥	上羽鳥	1.89	1.33
羽鳥	羽鳥公民館	1.73	0.95
寺松	寺松公民館	3.46	2.06
渋川	渋川公民館	1.48	0.88
鴻草	北部コミュニティーセンター	4.30	2.67
中田	中田公民館	0.77	0.50
両竹	両竹公民館	0.54	0.33
浜野	浜野公民館	0.34	0.23

原子力規制委員会ホームページより

※全国及び福島県の空間線量測定結果については原子力規制委員会ホームページでご覧になれます。▶ <http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

編集後記

今月号では学校再開の動きを紹介しました。記事を作成するために双葉町年表を熟読…。今まで知らなかった双葉町のこれまでの出来事や行事、歴史を改めて知ることができ、もっと双葉町を好きになりました（NHKのど自慢の

予選も行われていたようです）。また、学校の発展と町の活性化は密接に関係していると感じました。

4月から再開する学校が町の復興の大きな力となることは間違いありません。震災後、あたり前の学校生活ができなかった子どもたちが、心から楽しめる学校生活を送り、そして自分の母校をもっと好きになるよう願っています。

「ふたばのわ」に参加しませんか？

「ふたばのわ」では「後世に残したい双葉町」をテーマに、みなさんから写真を募集しています。お名前・出身行政区を記載の上、以下の方法でご送付をお願いします。

【郵送の場合】 〒974-8212 福島県いわき市東田町2-19-4
「双葉町いわき事務所内ふたさぼ」宛

【メールの場合】 info@futabamachi-s.com

(写真例)



ご応募
お待ちしております！

